

三浦綾子

読書会のご案内



三浦綾子さんの本を皆で読み、お茶を飲みながら、語り合うひと時です。
三浦綾子さんの本の愛読者の方、愛読者ではないけれどこれから読んでみたい方、
大歓迎です。

ひとりで読むのもよいけれど、お互いの感想を聞きながら読むのも、作品の理解を深める
有益なひと時です。ぜひ一緒に、三浦綾子さんの本を読んでみませんか。

三浦綾子さんについて

1922年旭川市で生まれ、17歳で小学校の教師になりますが、軍国教師として懸命に教えたために、敗戦後に大きな絶望に陥ります。

自殺未遂、そして結核、脊椎カリエス発病による13年にわたる闘病中、幼馴染みのクリスチャン前川正を通してキリストに出会い、洗礼を受けます。

前川亡きあと現れた三浦光世の祈りに支えられて奇跡的に癒された綾子さんは、結婚後、雑貨店を営みながらはじめて書いた一千万懸賞小説『氷点』で作家デビュー。

以降1999年の召天まで、多くの病と闘いながら、人々に神の愛を語り、生きる勇気と希望を与える80冊以上の作品を書き続けました。

総発行部数4,200万部以上、世界十数か国で読まれています。『氷点』以外に、『塩狩峠』『道ありき』『細川ガラシャ夫人』『天北原野』『泥流地帯』『海嶺』『ちいろば先生物語』『母』『銃口』などがあります。

参加費無料

主催：日本長老教会 **さがみのキリスト教会**

〒252-0325 相模原市南区相模台5-10-5

お問い合わせ TEL 042-748-8848(担当:中村)

✉ sagaminol1992@gmail.com

2023年9/17(日)からスタート!

毎月 第三日曜日

13:30~15:00

9/17(日)、10/15(日)

11/19(日)、12/17(日)

場所： さがみのキリスト教会

※読書会では、三浦綾子さんの自伝小説

『道ありき<青春篇>』(新潮社、1980年)

を少しずつ読んでいきます。各自ご用意ください。

(数冊、貸出用が用意してあります。)

